

教 科	工 業 (ものづくり)	科 目 (講座名)	機械製図 (機械製図甲 ・ 機械製図乙)
------------	------------------	----------------	---------------------------

対象年次	期 間	単位数	授業形態	必修 / 選択
1年 (2年) (3年) 4年	前期 後期 (通年)	2	講義 実技 (実習)	必ず履修しなければならない科目 選択して履修しなければならない科目群の中の一科目 履修するか、しないかを選択できる科目

履修の条件	ものづくり実習 ・ を履修すること。
--------------	--------------------

科目のねらい	製図に関する日本工業規格および各専門分野の製図について基礎的な知識と技術を習得させ、製作図、設計図など正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。
---------------	---

指導の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製作図を描く目的と役割を理解させる。 ・ JIS 規格にしたがって美しく正確な図面を描くように指導する。 ・ 立体を平面上に正しく表現でき、また、図面から立体図を正しく把握できるよう模型を使用し理解させる。
--------------	---

おもな授業内容	評価の方法・評価のポイント
<p>(前期)</p> <p>第1章</p> <p>1 製図の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械製図と規格 ・ 製図用具とその使い方 ・ 図面に用いる文字と線 ・ 基礎的な図面のかき方 ・ 投影図のかき方 ・ 立体的な図示法 <p>・ 演習ノート</p> <p>(後期)</p> <p>2 製作図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製作図のあらまし ・ 図形の表し方 ・ 寸法記入法 ・ 公差・面の肌 <p>・ 演習ノート</p>	<p>受講状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 欠席や遅刻がないか。 ・ 積極的な取組みをしているか。 ・ 意欲・関心は高いか。 <p>ノート提出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 締切りが守れているか。 ・ JIS 規格に従った方法で図面が描かれているか。 ・ 線の太さ、濃さは適当か。 ・ 美しく仕上がっているか。 ・ 投影図、等角図について理解されているか。 ・ 寸法記入の方法について把握しているか。 ・ 寸法公差が正しく求められるか。 <p>プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容について理解されているか。 <p>定期テスト</p> <p>テストによる評価だけでなく全作品（図面）の完成と提出により単位認定となります。製図は技術者の言葉です。重要な科目と考えてください。</p>

使用教科書・教材	(機械製図 ・ 基礎製図演習ノート) (実教)
-----------------	-----------------------------

準備物、費用等	教材費として、4,000円別途必要です。
----------------	----------------------